

利根沼田家保だより2024



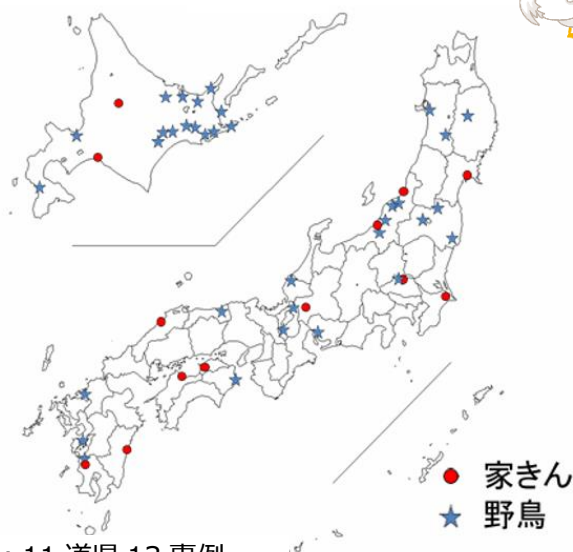
利根沼田農業事務所 家畜保健衛生課
 (利根沼田家畜保健衛生所)
 〒378-0031 沼田市薄根町 4412
 電話 0278-24-3888



●高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に対する防疫対策の徹底について

今シーズンのHPAIの発生は、令和6年12月10日時点で13例となっていて、過去最多の全国で84事例の発生があった令和4年シーズンに匹敵します。死亡野鳥等から検出されていない地域でも発生しており、地域を問わず、最大限の警戒が必要です。

今シーズンは、過去に発生が確認された農場や、同一地域での発生も複数報告されています。利根沼田地域は、昨シーズン発生した高山村と隣接していますので、本病の発生リスクが高い環境要因が揃っているものと認識し、特に重点的に対策していただくようお願いいたします。



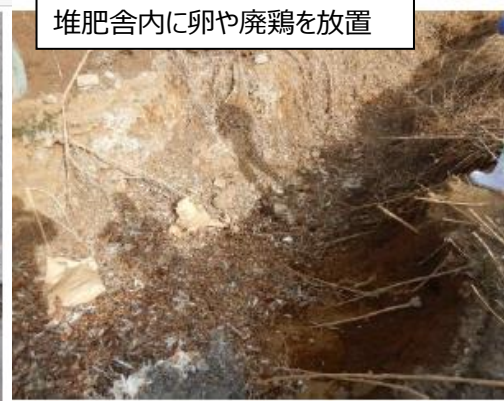
家きん：11 道県 13 事例
 野鳥：14 道県 64 事例
 (R6.12.10 時点：農水省 HP から)



NO



ウイルスが侵入する隙間・引き寄せるところってどんなところ？



ウイルスを持ち込ませない・寄せ付けない対策は？

ポイント

【野鳥や野生動物が入れない・近づけない環境作り】

- 餌こぼれ防止、こまめな掃除
- 卵の殻、死鶏を放置しない
- 防鳥ネットの設置、隙間対策
- ねずみや害虫の駆除
- カラスや野鳥の誘引防止：除草、見通しを良くする
- バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋設置

【環境中の塵埃からの持ち込み防止】

- 長靴・衣服の交換
- 鶏舎周辺の消毒
- 鶏舎屋根へのテグスの設置
- 乾燥した塵埃が鶏舎に入るのを避ける：入気口フィルターや細霧の設置



換気後に入気口周辺で死亡鶏増加事例あり

【人や車両からの持ち込み防止】

- 例外なき長靴・衣服を鶏舎ごとの交換。鶏舎外作業との共用不可
- 消毒の徹底
- 不要不急の工事の延期



●ランピースキン病が九州で発生！



11月6日以降、福岡県の17農場、熊本県の1農場でランピースキン病の発生が確認されています。

本病は、主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。



福岡県内発生状況

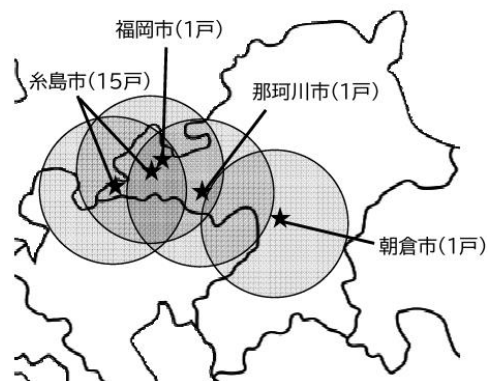
乳用牛：184頭（17戸）

肉用牛：1頭（1戸）

R6.12.9 現在 福岡県 HP から

発生位置図

円はおおよそ20km圏内を示しています。



本病は、届出伝染病であり、万が一発症した場合には当該牛の生乳出荷自粛や隔離が必要となることから、日頃から以下の対策をお願いします。

農林水産省 HP から

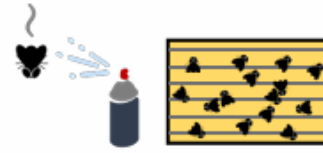
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

また、福岡県では、発生農場周辺20kmの範囲においてワクチン接種が11月21日に開始されました。これに伴い、ワクチン接種県（福岡県）の牛に由来する牛肉は米国への輸出が制限されています。福岡県産牛（11月21日以降福岡県にいた牛）は群馬県食肉卸売市場を含む対米輸出対応施設への搬入ができません。さらに、対米輸出対応施設への輸送時は、福岡県産牛との同乗はできません。

毎日の健康観察を徹底し、本病を疑う臨床症状を観察した場合には診療獣医師または家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

●県央CSでの牛ウイルス性下痢（BVD）検査の実施予定について

BVD対策として、県央クーラーステーションで集乳車による検査を定期的に行っています。今年度7月の検査では利根沼田管内からBVDウイルスは検出されず、継続的にウイルスを排出する持続感染（PI）牛は摘発されませんでした。次回は1月に実施予定です。今後も本症のまん延防止のため、半年に1回の間隔で検査を継続していく予定です。



●浅間家畜育成牧場の冬季放牧委託牛の運搬について

浅間牧場では、令和6年度から冬季間も含め年間を通じ入退牧も実施していますが、冬季は浅間牧場周辺道路が凍結していることが多く、牛運搬車を運転する方から不安の声も多く聞かれています。そこで希望者に対し、12月～3月の入退牧の際は、全農群馬県本部の協力により渋川市場を經由しての牛輸送を実施します。



詳細については、家畜保健衛生所までお問い合わせ下さい。

●第 28 回群馬県畜産共進会の成績について

10 月に、第 28 回群馬県畜産共進会が開催されました。出品者の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

《繁殖和牛の部》

令和 6 年 10 月 23 日に群馬県畜産試験場で開催されました。利根沼田地域から 7 戸 17 頭の出品がありました主な成績については以下のとおりです。



部別	入賞	名 号	出 品 者
2	優等賞	たけい 5 の 15	(株)武井牧場 (沼田市)
2	優等賞	ひのざくら 6 の 4	片野 嘉平 (みなかみ町)
4	優等賞	ひのゆりひめ 61	片野 嘉平 (みなかみ町)
5	優等賞	ばんだい 5	(株)原澤牧場 (みなかみ町)
6	優等賞	ばんだい 57	(株)原澤牧場 (みなかみ町)
		ばんだい 56	
		ばんだい 39	
7	優等賞	ばんだい 49	(株)原澤牧場 (みなかみ町)
		みなかみ 552	

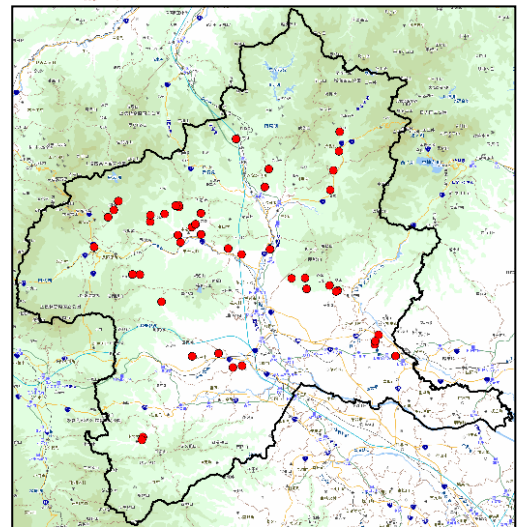
※敬称略。優等賞以上を掲載。

●野生いのししの豚熱検査状況と対策の徹底



令和 6 年度 4 月 1 日から 12 月 5 日までの野生いのししの豚熱検査頭数と陽性頭数は下表のとおりです。県内全体の陽性率は 5.4% ですが、利根沼田管内では陽性率が 11.6% と、依然として他の地域より高くなっています。県内各地で豚熱陽性いのししが確認されており、どこに豚熱陽性いのししがいてもおかしくありません。

野生動物の侵入は病原体の持ち込みの最大のリスクです。防護柵周囲や農場内の整理整頓を行い、農場に野生動物が近づきにくくなるよう、対策をお願いします。



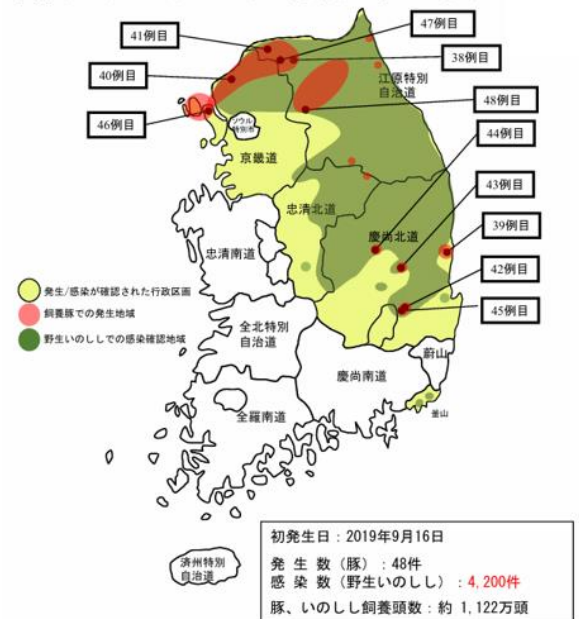
捕獲地域	検査頭数 (頭)	陽性頭数
利根沼田	60 (沼田市 23、片品村 25、みなかみ町 12)	7 (沼田市 2、片品村 2、みなかみ町 3)
中部	149	8
西部	228	8
吾妻	210	19
東部	237	6

● 韓国で継続的にアフリカ豚熱が発生しています



韓国では継続的にアフリカ豚熱が発生しています。11月にも飼養豚で1件の発生があり、野生いのししでも12月に発生しています。また、日本から50kmの釜山では、野生いのししのアフリカ豚熱感染が確認されています。大阪や博多などへの港や空港のすぐ近くです。旅行客が回復してきた中、アフリカ豚熱の日本国内への侵入リスクは極めて高い状況です。アフリカ豚熱ウイルスは死体中で数か月生存可能、消毒薬が効きにくい、ワクチンが無い等の理由から、感染が確認された場合は周辺農場の飼養豚を予防的に殺処分する可能性があります。豚熱とは対応が異なります。農場への侵入防止対策には「飼養衛生管理基準の遵守徹底」以外ありません。定期的に、農場の防疫体制を見直していただきますようお願いいたします。

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況



農林水産省 HP から

(R6.12.10 時点)

● 冬季の消毒について

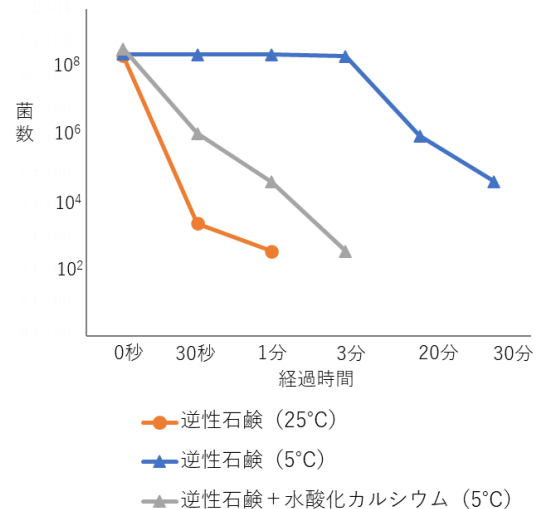
低温下では逆性石鹼の消毒効果が著しく低下します。常温と同等の効果を得るために、どの程度の濃度が必要か製品により異なるので、有効濃度を確認しましょう。

**冬期は暖かい時期よりも
濃い濃度で使用してください**
 (例：逆性石鹼 夏期 500倍 → 冬期 200倍など)

また、逆性石鹼に高純度水酸化カルシウム 0.2%混合すると、強アルカリの相乗効果で消毒効果が高まります。食品添加物規格品の高純度水酸化カルシウムなら超微粉末なので、噴霧器でも使用可能です。

消毒液が凍結してしまう場合は、ヒータによる加温のほか、不凍液の利用をおすすめします。消毒液への混合を目的とした畜産用不凍液も市販されていますが、ウインドウォッシャー液やアルコール系不凍液、酢酸系凍結防止剤なども使用できます。ウインドウォッシャー液は引火性があり、また、主成分のメタノールには毒性や揮発性があるため、火気には十分注意してください。

液体中のサルモネラに対する殺菌効果
 (畜産分野の消毒ハンドブックより改変)



● 堆肥作りで資源循環型農業に貢献しませんか？

今、化学肥料の高騰や環境意識の高まりによるオーガニック農産物の需要増で堆肥の需要が高まっています。そのため、耕種農家は良い堆肥を作っている畜産農家に関心を寄せています。また、堆肥が安定的に使用されることは野積みの回避や悪臭防止にもつながるため、畜産環境保全対策にも重要です。この機会に



堆肥作りを見直し、良質な堆肥を生産することで地球にやさしい農業に貢献しませんか？

なお、堆肥を製造して他者に渡す場合は、有償・無償を問わず特殊肥料の手続きが必要です。
詳しくは農畜産課・企画調整係（電話 23-0188）までお問い合わせください。

●インボイス制度に係る家保検査手数料の適格請求書の発行について

令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が開始されたことに伴い、課税対象となる家保の検査手数料については、基本的には検査翌月に、前月分の検査料について適格請求書を発行しています。

各農場の課税期間に合わせて、令和6年分（令和6年1月1日から12月31日）の請求書が必要な方は家保までご連絡ください。

●農業用免税軽油申請手續の集中受付期間が始まります

農業用機械の動力源として使用される軽油は、あらかじめ窓口で一定の申請手續きを行うことで、軽油引取税（32.1円/L）が免除されます。

○集中受付期間：令和7年2月3日(月)～2月20日(木) ※期間外でも、申請は可能です。

○申請場所：利根沼田行政県税事務所 沼田市薄根町4412 利根沼田振興局1階
※臨時窓口を開設します。

・白沢地区コミュニティセンター 保健指導室（沼田市白沢町平出135-1）

2月6日(木) 9時～13時

・JA利根沼田 営農経済総合センター（利根郡昭和村森下2809-1）

2月13日(木) 9時～13時

○問い合わせ先

・利根沼田行政県税事務所（Tel:0278-22-4336）

・利根沼田農業事務所（Tel:0278-23-0188）

●別添文書をご確認ください

- ・牛トレーサビリティ制度に関する問い合わせ先変更について（牛飼養者、関係者のみ）
- ・畜産農家のみなさまへのお願い（牛飼養者、関係者のみ）
- ・令和6年度畜産クラスター事業研修会（牛飼養者、関係者のみ）
- ・第16回全日本ホルスタイン共進会について（乳用牛飼養者、関係者のみ）
- ・浅間牧場観光用展示牛（県有牛）の導入について（乳用牛飼養者、関係者のみ）

◆既に廃業された方に本たよりが届きましたら、

お手数ですが当所までご一報下さい◆

利根沼田家畜保健衛生所

〒378-0031 沼田市薄根町4412

TEL 0278-24-3888 FAX 0278-24-3889

（夜間・休日の電話は転送されます。）